

母と妻をやめるとき

2

唄飛鳥



アシナ
NEXT



おはよう



おはよう

ママも
おはよう



一晩経ったのに

まだ染み付いて
忘れられない…



おおはよう
璃子

まだ身体に
残っている
違和感

まるで夫に初めてを
捧げたあの時の

ジン

ジン

いいえ――

その時以上に

ジン

私の何かが
変わった
違和感……

ジン

彼の

ダウリスのチ○ポ
あの感覚がまだ

焼印みたいに
私の中に残って
いる

イクキン……

行ってきまーす

由希奈
行ってくるよ

ええ二人共

気をつけて

ハタッ……





この後もまた
彼に……



オジヤマします

どうぞ中に――

カチャッ



そんな……事

わん

わん

待つて……なんか
いま……せん

わん



何を考えている
ママサン？

！



俺とのセックスを
想像していたのか？

悔しい



こんな男に
見過ごされた
なんて

ギン……



キス…だけは

それだけは
許して下さい



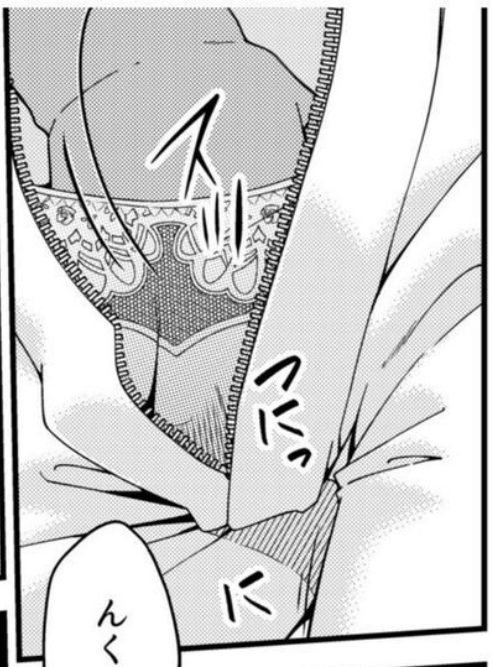
OK

彼との行為は
契約だから



それは娘と夫の為
…仕方ない事

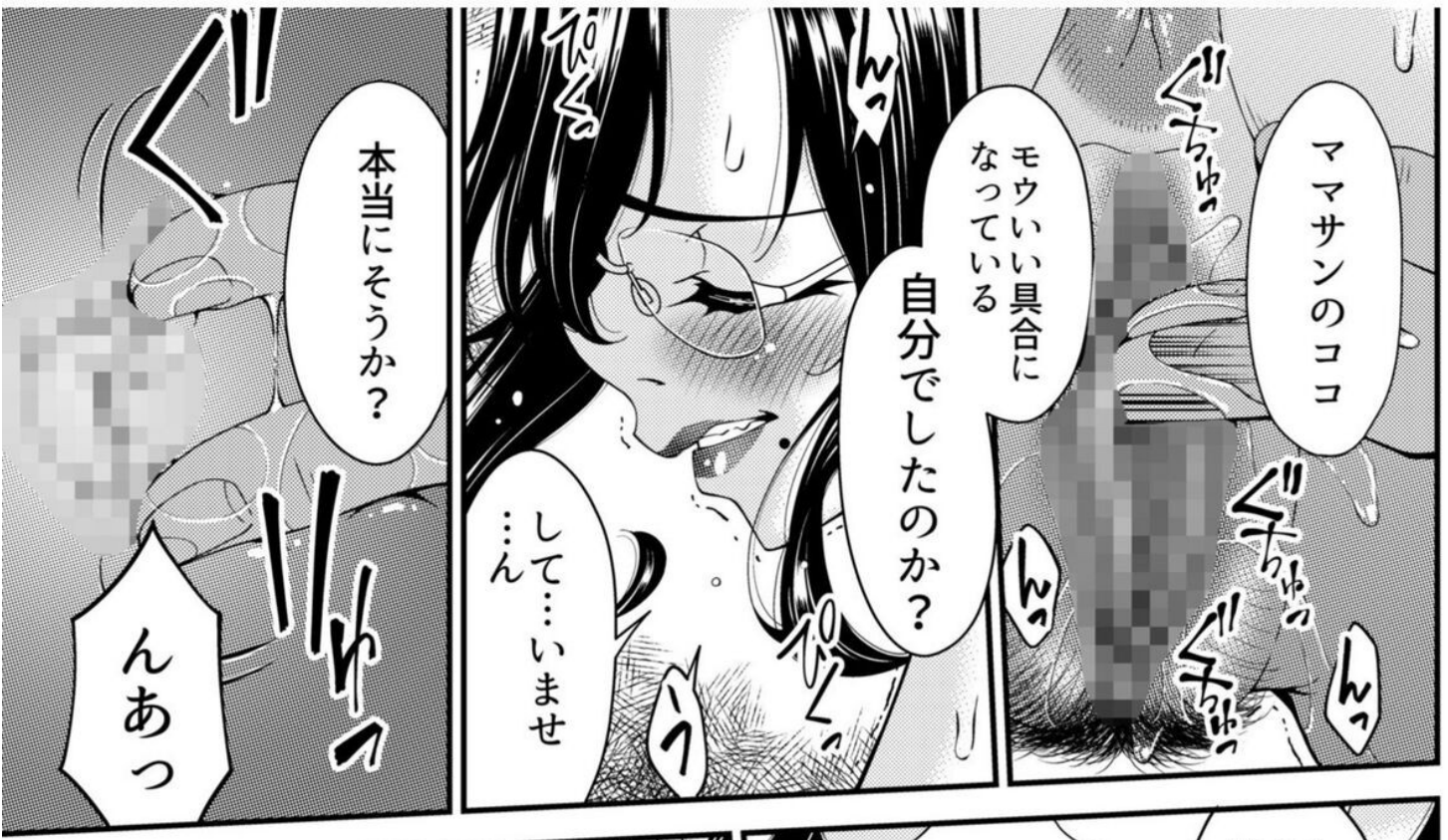
でもキスだけは



んくっ



待って





ンっ!

ンアッ

ンう!

んあっ

私を髑つて

愉しんでる

彼

たじあ

あ

ああ

あ



もうイッたのか
オクサン？

アヒツ！



素直でイイネ

それじゃあ



お返事はどう
しましたか？

イイキい
ましたあ！

イッた時は
直ぐに報告OK？

は…はい



こっちはどうだ？

ンアツ！



もう



プッシーもまた
濡れてきたな

んおっ!



また勝手に
イこうとした
だろう

ママサン?

ああ

あ



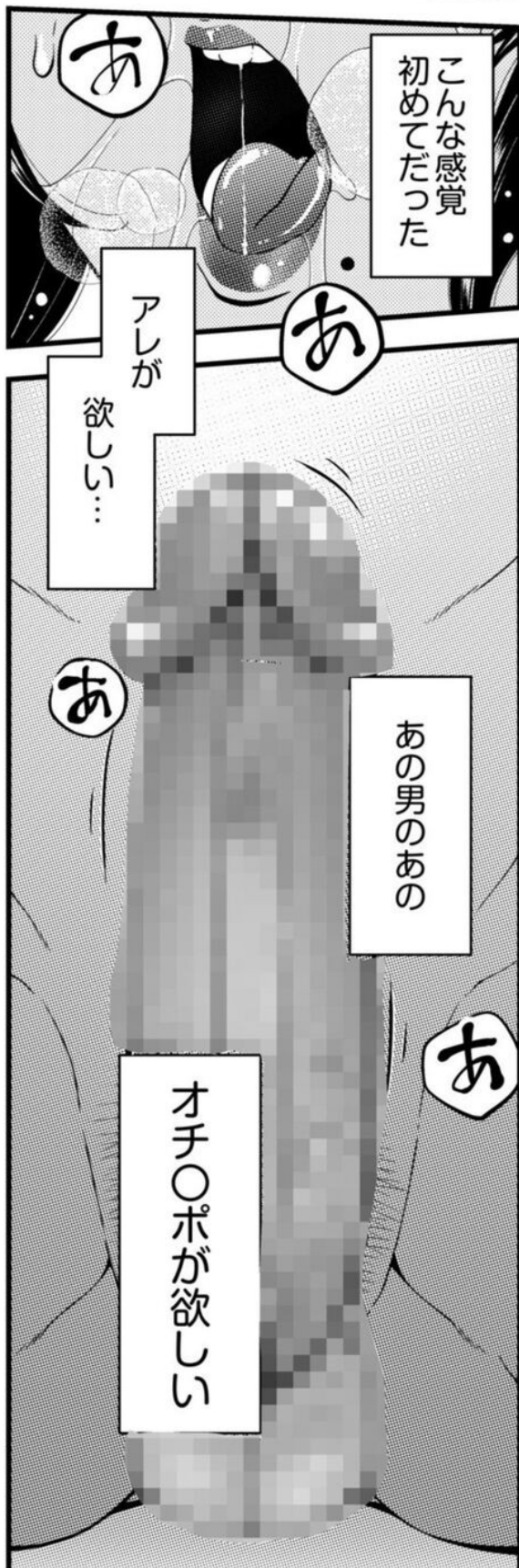
だめえ

こんなのお
耐えられな



んあっ

ルン







大きい

はあ...あ

あ



やっぱり

ん...

にゅっ



太くて

大きすぎて

子宮の
入口に

ギューッ

ギューッ

キスされて

息が

ああ

出来ない

ああ

ギューッ



コレ...

ダメなヤツ



何をしてる？

んあつ！

入れたのなら
さっさと動け



は...いい



身体が彼のモノに
慣れてきたから？

わからない



昨日よりも
もっと

ダメになってる

わからん
けれどー

少し乗って
きたんっじゃ
ないか

ママサン？

腰を止めるな

きちんと俺を
喜ばせろ

は…いい

また…
お尻の穴を



もつと腰を振れ

ンアッ!

彼と繋がって
いる所が

ガッ

ンう

わにい

ンッ

ガッ

アッ

んう

融けるう

ンッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

はひい!

わにい

融けちゃうう

ハッ

ハッ

止まらない

腰い
止まらない

来るう

来ちゃうう

なにこれえ

今までと違うう

気持ちいいのが
昇ってくるう



コツチも
イかせて
もらうぞ！

イツたな
それじゃあ

あふ

あ

ンアッ！

あ



濃くて

熱い

熱くて

あ

あ

あ

あ

こんな…

こんなモノが
私の中に

注ぎ込まれて
いたの？

舐めて綺麗にしろ

はい

こんなのもう…

はあ

あ





仕方なかった…

とはいえ

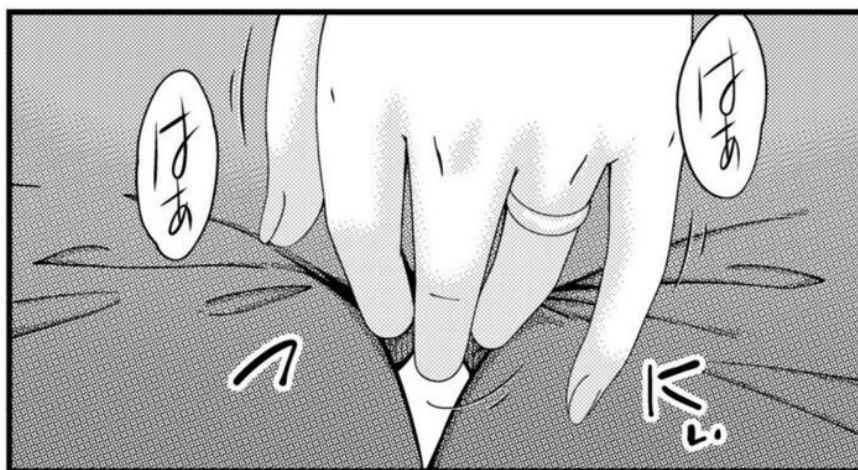
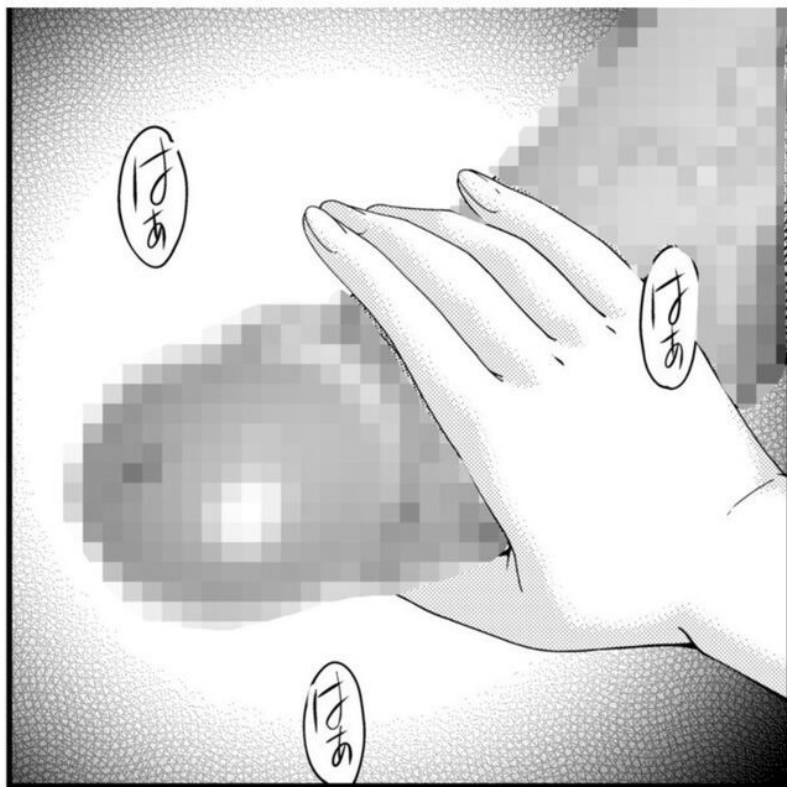
あんなに乱れて
しまうなんて

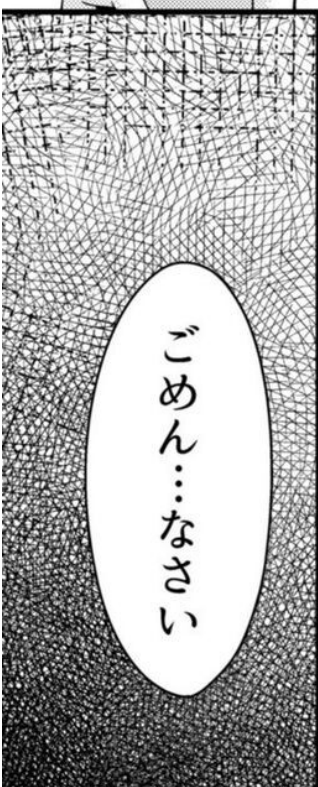


私の深いところに

消えない烙印を
押されたみたいに

まだ火照ってる









母と妻をやめるとき(2)

著者 唄飛鳥
レーベル アシオナNEXT

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
